

平成27年度施策評価調書

整理番号	30
評価担当課	教育部児童センター
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	子育て支援の推進		
総合計画の位置づけ	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
	主要施策	9	青少年の健全育成

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	南児童クラブは、現在名寄南小学校の空き教室を利用して、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に通う子どもたちに、遊びや生活の場を提供し健全な育成を図っているが、名寄市立小中学校施設整備計画に基づく名寄南小学校の校舎及び屋内運動場の改築に伴い、新たに整備する学校敷地内に南児童クラブを整備していく。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	昼間保護者が留守の家庭の児童に対し、子どもが安心して居れる居場所づくりを実施している。
施策の課題	学童保育所については、市が主体の公立2カ所と、民間が主体の私立2カ所があり、民間が実施している多様なサービスも併せ対応していく必要がある。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H24	H25	H26	目標年度(年度)
学校編成後の放課後児童クラブ建設	事業の実施件数	目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	就労等によって家庭が留守になる環境の児童の健全育成を図ることができる。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後も、子育て支援の推進として必要であり実施していく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H26年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H26決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	学校編成後の放課後児童クラブ建設	南小学校敷地内に専用施設の設置	7,668	a	a	a	b	a	A		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	30	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	教育部児童センター		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	学校編成後の放課後児童クラブ建設			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
		主要施策	9	青少年の健全育成
		基本事業	2	子育て支援の推進
		実施計画事業	1	放課後児童クラブの整備

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	学校編成に伴い、名寄南小学校と豊西小学校両校を統合する新校舎が現名寄南小学校内に新設されることとなり、南小学校内の空き教室を利用して開設していた児童クラブについては、南小学校敷地内に専用施設として設置していく。			
対象(何を又は誰を)	小学校児童(1～6年生)が利用する施設。			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	小学校区域内に放課後児童クラブを設置して対応。			
意図(どのような成果を期待しているか)	子どもの健全育成と保護者が安心して預けられる施設			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営 一部委託 全部委託 補助等 請負 その他()			
事業実施期間	始期	H26 年度	終期設定	有 (終期 H27 年度) ・ 無
根拠法令・条例等	児童福祉法、名寄市児童クラブ条例、規則			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 施設改築整備	棟	目標			1	1	
			実績			1	1	
			目標					
成果指標	1 施設完成	棟	目標				1	
			実績				1	
			目標					
	2		目標					
			実績					
			目標					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	0	0	7,668	113,549	南児童クラブ建設実施設計委託料
国道支出金				30,666	
地方債				72,000	
その他					
一般財源			7,668	10,883	
人件費	0	0	0	0	
平均給与額					
担当職員数					
総事業費	0	0	7,668	113,549	
対前年比(%)	-	-	-	1,481	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () (無)

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	学童保育所については、市が主体の公立と、民間が主体の私立で実施していくことができるので、民間の多様なサービスも併せ対応していくことが市民のニーズに適合していくことになる。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	放課後児童クラブは、国のガイドラインに沿って安心安全な居場所として必要とする施設であるため、予算内で公的支援を活用して施設整備をしていくことが有効である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	現在、南児童クラブでは定員90人で児童を受け入れているが、児童クラブ建設により、学校編成後の児童数増加に応じた安全な居場所としての運営が期待できる。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	b	民間は、各運営委員会で決定している。 公立は、利用料において、民間の状況を参考に検証をして対応していくことも必要である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	活動指標、成果指標を達成している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	就労等によって家庭が留守になる環境の児童の健全育成を図ることができる。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり